

三協精器、熊本に新拠点

車シート
部品生産

北部九州に供給

【熊本】三協精器工業（大阪市東淀川区、赤松賢介社長、06・6322・2931）は21日、全額出資の「熊本三協スプリング」（仮称）を2

月1日付で設立すると発表した。資本金は1000万円で、赤松社長がトップを兼任する。北部九州の自動車メーカーの生産増に対応し、自動車シ

ート向けの金属製スプリングなどを生産する。熊本県益城町にある工場跡地と建屋を賃借する。投資額は約3000万円。

工場は鉄骨平屋建てで、敷地面積は約1650平方メートル、述べ床面積は約660平方メートル。4月に操業を開始する予定。初年度の売上高は約4000万円を見込む。

また2013年度までに約2億7000万円を追加投資し、工場を増設する計画。

三協精器は、自動車や機械部品などの金属製スプリングを手掛ける。同社は、「新会社を九州の拠点工場にしたい」としている。07年7月期の売上高は約18億円。